

このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します。



あらかわの話題

絶品の塩引き鮭に長蛇の列

12月13日(土) 寝屋漁港



塩引き鮭を即売する恒例の「イヨボヤまつり」。18回目となる今年は、1,100本の塩引き鮭が用意され、市内外から650人が訪れ賑いました。普段は魚の競りが行われる「荷捌場」には、開会前に1本のロープが張られ、まるでマラソンのスタート場面のような。開会の合図と同時に鮭に向かって走り出す様子は、この時季の風物詩となっています。

スマートフォンで快適便利なケータイ生活

12月18日(木) 神林地区公民館



高齢者向けスマホの使い方を学ぶ教室が開催され、16人が参加しました。NTTドコモのインストラクターから丁寧な指導を受け、楽しくスマホの使い方を学んだ参加者たち。「思ったより使いやすかった」「インターネットが便利！」などの声が聞かれ、有意義な教室となったようです。

コミュニティビジネスでまちづくり

11月30日(日)~

あらかわ地区まちづくり協議会(育成部会)



田んぼアートなどに
取り組む、阿賀町の
NPO法人「コスモ夢舞台」

地域資源を活かしたビジネスの手法を学び、あらかわ地区のまちづくりに繋げてもらおうと、CB(コミュニティビジネス)育成セミナーを4回シリーズで開催しています。

第1回目は約30人の参加者が阿賀町や福島県西会津町を訪問し、過疎地域で農産物の加工・販売や農家レストラン、田んぼアートを中心としたまちづくりに取り組む団体らを視察しました。終了後のアンケートでは、「起業家の方々の前向きな姿勢と豊かな発想力に感動した」、「今後のセミナーが楽しみ」など、多くの感想が寄せられました。今後は講義を重ね、最終的には参加者がコミュニティビジネスを実現させるためのアクションプランの完成を目指します。



特産品の数々
※西会津町
「奥川こらんしよ村」



ウェブで検索してみてね。



1月11日(日) 板貝集落
「子宝・良縁に恵まれる「さいの神」」

「一刀彫した松の「御神体」をお供えして子孫繁栄を願う「さいの神」が行われました。雪が降るあいにくの天候の中、参加した皆さんは「御神体」に乗る子どもの笑顔を見ながら、集落のさらなる子孫繁栄や無病息災をお祈りしました。集落総代の菅原新一さんは「このさいの神で集落の融和がはかられています。今年も集落で協力して良い年にしてほしいですね」と話してくれました。

ピアノと歌に引き込まれ・・・

12月20日(土) 総合文化会館



市内外で活動を行っている演劇団体「森の劇場スピカ」による音楽劇が上演されました。今回の演目は宮沢賢治の名作「注文の多い料理店」。2人の若い紳士と山猫の様子をスピカ独特の世界観で表現し、子供から大人まで約150人の来場者を楽しませました。

一筆に集中！新春書き初め大会

1月9日(金) 砂山小学校



校内一斉の書き初め大会が行われました。先生から「太く、バランスよく」などの指導を受けながら、真剣な様子で、一筆一筆集中して取り組んだ児童たち。「とても集中して疲れたけど、満足できる作品ができてよかった」などの声が聞かれました。

スキー授業実施中

1月15日(木) ぶどうスキー場



冬期間の体力向上や雪と親しむことを目的に市内の小中学校では、スキー授業を実施しています。この日は、猿沢小学校と神納小学校のスキー授業が行われていました。滑り慣れている子、初めてで不安そうな子など、さまざまでしたが、真剣ながらも楽しそうな様子で練習をしていました。